

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	塗りつぶしの日は休館です。				

令和6年

12月



Pick Up!

『からだところがととのう滋養菓子』 沼津りえ/日東書院本社/596.6 ｽｽ

身近な食材で、からだによいお菓子を手作りしてみませんか。枝豆入りそば粉餅、玄米ぼん、豆乳わらび餅、りんごの紅茶コンポート…。3ステップでできて、おやつにも間食にも食事にもなる「滋養菓子」のレシピを紹介します。今年の夏も暑かったですね。知らないうちに疲れもたまっているかもしれません。体に優しい食べ物で体調を整えましょう。



『生成 AI と脳』

池谷裕二/扶桑社/007.1 ｲﾁ

生成 AI の基本概念、歴史的背景、主要な生成 AI、効果的に利用するためのプロンプト技術、カウンセリングや医療分野での AI 活用の可能性と課題、主要な問題点などについて解説。生成 AI と脳が交錯する未来像を紹介する。

『「韓非子」入門』

渡邊義浩/ミネルヴァ書房/124.5 ｳﾀ

臣下を統御する「術」、賞罰の基準である「法」、権力の淵源となる「勢」。中国の中央集権的な国家体制の根幹を成す韓非の思想を、説話による説得術に注目しながら解説し、始皇帝が韓非の思想に惚れ込んだ理由を探る。

『地獄の解剖図鑑』

大角修/エクスナレッジ/181.4 ｵｵ

平安時代に活躍した僧侶・源信が書いた極楽へ行くための手引書「往生要集」。その中に記された八大地獄、死出の旅路と六道輪廻、地獄から脱した仏の世界・極楽浄土について、イラストで丁寧に解説する。

『写本で楽しむ奇妙な中世ヨーロッパ』

オリビア・スウォーサウト/河出書房新社/230.4 ｽﾌ

もしあなたが中世ヨーロッパに生まれたら？500～1500 年まえにつくられた写本の挿し絵を手がかりに、中世ヨーロッパの暮らしをナビゲートする。奇妙でかわいいモンスターも多数収録。

『北垣国道の幕末と近代京都』

高久嶺之介/思文閣出版/289.1 ｷﾀ

幕末の生野の変や天狗騒動を経て、京都宮津間車道および琵琶湖疏水事業に携わった第三代京都府知事・北垣国道。晩年の北海道庁長官へといたる経緯、その中で培われた人脈や行動を考察し、従来とは異なる人間像を描き出す。

『なぜ罪に問われた人を支援するのか?』

掛川直之[編著]/旬報社/326.5 ｶﾅ

罪に問われた<犯罪加害者>と彼らを支える<支援者>6 人が、みずからの生活史を語るインタビュー集。それぞれの語りを通じて、刑事司法のあり方と犯罪行為を手離す方法をさぐる。

『船上の助産師』

小島穂奈/ほんの木/329.3 ｺﾝ

紛争、暴力から逃れるため、人間らしい生活をするため、命がけで海を渡って逃げてくる人たち。その中には妊婦や乳飲み子を抱えた母親もいる。地中海の難民救助船にて活動する、日本人助産師の手記。

『会社四季報公式ガイドブック』

会社四季報編集部/東洋経済新報社/338.1 ﾄﾎ

将来性のある会社・安全な会社の見つけ方、売買チャンスのつかみ方、お宝株を見つけるウラ技…。株式投資と会社情報のバイブル「会社四季報」の実践的活用法をわかりやすく紹介する。「米国会社四季報」活用術も掲載。

『本当に危ない闇バイトの話』

廣末登[監修]/金の星社/368.6 ﾋﾛ 青少年

昨今、闇バイトに手をだしてしまった若者が犯行グループの一員として事件に巻きこまれる事例が増えている。実際の事件をもとにしたマンガを掲載し、闇組織の実態や手口、闇バイトに手をださないようにするための方法などを解説する。

『日本ファッションの一五〇年』

平芳裕子/吉川弘文館/383.1 ﾋﾂ

明治時代の大礼服、大正時代のモボ・モガ、昭和戦時期の国民服・モンペ、戦後のみゆき族、コギャル…。西洋のファッションが、日本へいかに移入され独自のファッション文化に発展したのか、その歴史を明らかにする。

『星に名前をつけるなら』

出雲晶子/オーム社/443 ｲｽ

星の名前はどこで誰が付け、どんな意味が込められているのか。恒星名の誕生から固有名の成立、世界各国での呼び名、惑星の名前の語源や由来、衛星の名前まで、わかりやすく解説。星座や星のさまざまなエピソードも紹介する。

『光を見た』

趙根在/クレイン/498.6 ｴﾁ

炭鉱労働者からハンセン病を撮る写真家へ。ハンセン病と向き合って生涯を閉じた在日朝鮮人二世の写真家・趙根在による、回想的自伝をはじめとした文章と、撮影写真を収録する。

『フライパン蒸し煮』

若山曜子/主婦と生活社/596 ｳｶ

フライパンに野菜と肉や魚を重ねて入れたら、少しの水分を加え、ふたをして加熱するだけ！ 肉や魚はしっとりジュューシーに、たっぷりの野菜はカサが減ってぐっと食べやすくなる、手軽でヘルシーな蒸し煮のレシピを紹介する。

『本格あんこが作れる本』

大須賀麻由美/世界文化社/596.6 ｵﾅ

おうちでも少量の豆でプロの美味しさが出せる！「小豆のあん」「白あん」それぞれの豆のゆで方、粒あん・こしあんの作り方を丁寧に解説する。手作りあんこで楽しむスイーツレシピも紹介。

『古典籍にみる日本の野菜』

杉山信男/東京農業大学出版会/626 ｽｷ

飛鳥・奈良時代～江戸時代の日記類や食料を調達した記録類などにおける各野菜の出現頻度から、それぞれの時代における「重要野菜」を特定し、その変化を明らかにする。

『江戸・明治のロゴ図鑑』

友利昂/作品社/674.3 ﾄﾎ

明治 17 年に日本に商標登録制度が誕生してから 140 年。三越など、5 万件以上にのぼる江戸・明治時代の商標からデザイン性に優れ、歴史的な逸話があり、当時の産業を象徴するものを厳選し、各商標の由来やエピソードを紹介。

『シンプル・スケッチライフ』

B6 速寫男/ビー・エヌ・エヌ/725 ﾋﾛ

何気ない日常の小物や心に響いた風景を書き留めて、子どもの頃の落書きのような気軽さでスケッチを始めてみませんか。台湾で人気のスケッチ講師が、台湾や日本の風景など自身の作品を手本に、スケッチのコツを紹介します。

『手仕事の世界』

有吉玉青/彩流社/750.2 ｱﾘ

江戸小紋、鼈甲細工、雛人形、木彫、漆芸、指物、毛針、すだれ、籐細工、刷毛、水引、組紐、七宝…。作家と画家が日本各地の伝承工芸職人の工房を訪ね、その技芸の「粋」に迫る。『日刊工業新聞』掲載記事を加筆修正。

『その敬語、盛りすぎです!』

前田めぐる/青春出版社/815.8 ｴﾒ

「お召し上がりになる」「頑張らせていただきます」「お求めやすいお値段になっております」…。過剰敬語をはじめとする盛りすぎ敬語の違和感の正体を楽しく解き明かしながら、潔くも心地よい言い換えを提案する。

『こんにちは!ひとり暮らし』

みつはしちかこ/興陽館/914.6 ﾐﾂ

今はもういない、家族や友人を思い出しながら、83 歳のひとり暮らしを楽しんでいます。ロングセラー漫画「小さな恋のものがたり」を描きつづけて 60 年。今なお創作に励むみつはしちかこが、暮らしの楽しみかたを綴る。

『作家とおしゃれ』

平凡社編集部[編]/平凡社/914.68 ｹｲ

こだわりの一着、憧れのスタイル、特別なよそいき…。村上春樹「正しいアイロンのかけ方」、長谷川町子「サザエさんの洋服」、村田沙耶香「誓いの色を着た日」など、おしゃれにまつわる 46 篇を収録。

『リスボンのブック・スパイ』

アラン・フラド/東京創元社/933 ｳﾗ

1942 年、ニューヨーク公共図書館で働く司書マリアは任務を帯びてポルトガルリスボンに旅立つ。その任務とは、身分を偽り、戦略分析のため枢軸国の刊行物を収集すること…。本を愛する者たちの闘いを描く長編。

『こぼれ落ちる欠片のために』

本多孝好/集英社/F ﾎﾝ

県警捜査一課の和泉は女性警官・瀬良とタッグを組み殺人事件の捜査をすることに。待ち受けていたのは、「正しい刑罰」の在り方を問う、予想外の真相だった。『小説すばる』掲載に書き下ろしを加え単行本化。

『またうど』

村木嵐/幻冬舎/F ﾏﾗ

「この者は、<またうど>の者なり」徳川家重の言葉を生涯大切に続けた老中・田沼意次。彼は本当に、賄賂にまみれた悪徳政治家だったのか？ 失脚してもなお失わない誇りと引き際の美しさが胸に染みる歴史小説。